

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	子どもと地域					授業形態	講義		
科目コード	750043	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山田 裕司								
授業概要	<p>子どもは社会に適応するために必要な知識・技能などを家庭や学校だけでなく、地域社会において獲得しています。特に、地域には同世代に加えて、多様な年齢層の人たちと接する機会があり、そこで子どもたちは様々な社会経験を積み重ね、社会性や公共性を獲得しています。</p> <p>授業では次の3つの取り組みを行います。第1に、子どもの成長を促す「社会教育」の役割や実践について学びます。第2に、地域社会で活躍する人たちの活動実践を基に、子どもが豊かに育つための取り組みやその成果について学びます。第3に、第1・第2の取り組みを通して、学生として取り組む／関与することができる地域での取り組みとその教育効果について学びます。</p> <p>以上の取り組みを通して、授業では、地域社会における子どもの成長や、地域・学校・家庭教育の役割について学ぶことを目的としています。</p>								
関連する科目	子ども支援地域活動Ⅰ・Ⅱ、キャリア教育、教育と社会								
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。</p> <p>授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。</p>								
授業計画 【第1回】	1. オリエンテーション：地域・学校・家庭教育について 社会教育と生涯学習、家庭学習、学校教育などの教育・学習形態について学びます。 また、学習形態の違いとその教育効果についても学びます。								
授業計画 【第2回】	2. 社会教育と生涯学習 社会教育と生涯学習、家庭学習、学校教育などの教育・学習形態について学びます。 また、学習形態の違いとその教育効果についても学びます。								
授業計画 【第3回】	3. 地域社会における社会教育の役割 社会教育と生涯学習、家庭学習、学校教育などの教育・学習形態について学びます。 また、学習形態の違いとその教育効果についても学びます。								
授業計画 【第4回】	4. 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策 社会教育と生涯学習、家庭学習、学校教育などの教育・学習形態について学びます。 また、学習形態の違いとその教育効果についても学びます。								
授業計画 【第5回】	5. 地域社会における実践-社会教育 子どもたちの成長を支える地域での活動実践事例について学びます。								
授業計画 【第6回】	6. 地域社会における実践-NPO等の取り組み 子どもたちの成長を支える地域での活動実践事例について学びます。								
授業計画 【第7回】	7. 子どもと地域ワークショップ-企画、協議 子どもたちと活動するための技法を身に付けます。授業では学生を対象にその技法を実践します。								
授業計画 【第8回】	8. 地域社会における実践-企業の取り組み 子どもたちと活動するための技法を身に付けます。授業では学生を対象にその技法を実践します。								
授業計画 【第9回】	9. 子どもと地域ワークショップ-企画、協議 子どもたちと活動するための技法を身に付けます。授業では学生を対象にその技法を実践します。								
授業計画 【第10回】	10. 子どもと地域ワークショップ-企画、協議 子どもたちと活動するための技法を身に付けます。授業では学生を対象にその技法を実践します。								
授業計画 【第11回】	11. 子どもと地域ワークショップ-プレゼンテーション 子どもたちと活動するための技法を身に付けます。授業では学生を対象にその技法を実践します。								

授業計画 【第12回】	12. 子どもと地域ワークショップ-プレゼンテーション 子どもたちと活動するための技法を身に付けます。授業では学生を対象にその技法を実践します。
授業計画 【第13回】	13. 子どもと地域ワークショップ-地域での実践 地域の放課後児童クラブ、児童館を訪問し、子どもたちの成長を支える教育施設の活動内容やその施設における課題について聞き取りを行います。その成果はレポートとしてまとめます。
授業計画 【第14回】	14. 子どもと地域ワークショップ-地域での実践 地域の放課後児童クラブ、児童館を訪問し、子どもたちの成長を支える教育施設の活動内容やその施設における課題について聞き取りを行います。その成果はレポートとしてまとめます。
授業計画 【第15回】	15. 子どもと地域ワークショップ-地域での実践 地域の放課後児童クラブ、児童館を訪問し、子どもたちの成長を支える教育施設の活動内容やその施設における課題について聞き取りを行います。その成果はレポートとしてまとめます。
授業の到達目標	本授業を通して、次の3点について学び、それに関連した【知識・技能】【関心・意欲】を獲得する。 1. 社会教育の役割とその実践例を学び、社会教育を推進するための知識・スキルを身につける 2. 地域社会での実践例とその成果を学び、子どもの成長を促すための知識・スキルを身につける 3. 子どもの成長を促すための地域での取り組みを企画し、実践するスキルを身につける
学位授与の方針 (DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	子どもの成長を促すために行われている地域社会での取り組みを調べて、授業中のグループワークやプレゼンテーションにて説明できるように、情報収集を行うようにしてください。さらに、授業の空き時間等を活用して、情報を収集した活動に積極的に参加してください。
授業時間外の学修 【復習】	子どもの成長を促すために行われている地域社会での取り組みを調べて、授業中のグループワークやプレゼンテーションにて説明できるように、情報収集を行うようにしてください。さらに、授業の空き時間等を活用して、情報を収集した活動に積極的に参加してください。
課題に対する フィードバック	レポート、最終試験は評価後、解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲(授業中)-50点 2) 小テスト及びレポート-20点 3) 最終試験-30点
テキスト	J. デューイ著、市村尚久(翻訳)『学校と社会・子どもとカリキュラム』講談社学術文庫、1998年12月
参考書	文部科学省『地域と学校の連携・共同の推進に向けた参考事例集』2016年4月 文部科学省『新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について』(中央教育審議会・答申)2015年12月
備考	